

# SINAPIS



社会活動センター・シナピスは平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援します

## 月刊シナピスニュースレター

Vol.  
91

2023.12

年間テーマ ～ 平和を目指してともに歩もう ～



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

カトリック大阪高松大司教区  
社会活動センター・シナピス

TEL/06-6942-1784 FAX/06-6920-2203

Email/sinapis@osaka.catholic.jp

ホームページ/<https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

タイトル:「色んな色の光」

作: 深堀 光 (小学5年)

第2回シナピス主催絵画コンテスト  
ピース賞 受賞作品

ヌノ・リマ神父

「共に歩む教会のため - 交わり、参加、そして宣教」をテーマにしたシノドスが、今年の10月4日から29日までバチカンで開かれた。これは2021年から準備してきた世界代表司教会議（シノドス）第16回通常総会の第1会期である。



シノドス第1会期開幕日  
シノドス総会導入挨拶をされる  
教皇フランシスコ  
【バチカンニュースより】

教皇フランシスコは29日の閉会ミサでイエス様が教えてくださった「神と隣人を愛する」という教えを、「礼拝し、奉仕する」という2つの動詞で表せると説明された。

教皇は、神への愛と隣人への愛は、切っても切り離すことのできないものであると強調された。

「キリストが、最も重要な掟の中に、神と隣人を結び合わせたのは、決して両者を分離させないためである。この世の叫びに耳を傾けない真の宗教体験はなく、隣人に思いやりを持たない神の愛はない」と言われた。

神への愛は、隣人への愛につながっている。

わたしたちは隣人を愛することで、神への愛を反映している。すなわち、目に見える兄弟を愛することで、見えない神を愛するのでであると教皇フランシスコが語られた。

これは当日の福音朗読箇所、イエス様が「最も重要な掟」とは何かを答える場面（マタイ22・34-40）を取り上げられた説教だったが、終了したばかりのシノドスのまとめとして受け止めることができる。

今回のシノドスの印象的なイメージがある。丸いテーブルを囲む教皇、司教、修道者、信徒が語り合う、祈り合う姿である。語り合い、祈り合いを通して、識別しながら、神様が望まれる方向を探る姿が映された。

シノドスの第16回通常総会の第1会期では、現在社会や教会が直面する様々な課題が取り上げられた。

第2会期まで一年弱ある。イエス様とともに歩む、人々とともに歩む教会がさらに神と隣人の愛を深める期間ではないだろうか。



丸いテーブルを囲み、語り、祈り合う  
(バチカン・パウロ6世ホール)  
【バチカンニュースより】

## 第二回シナピス主催 絵画コンテスト授賞式報告

11月5日 日曜日、教区本部事務局で第二回シナピス主催絵画コンテストの賞状授与式を行いました。この日参加して下さった受賞者は、大司教賞を受賞された丸田周（まるたあまね）さんと、ピース賞を受賞された丸田和（まるたなごみ）さんのごきょうだいとご家族のみなさん。和歌山から一家そろって駆けつけてくださいました。

前田万葉大司教に直接お会いできるということで、うれしさと緊張とのあまり前の晩はなかなか眠れなかったというお二人でしたが、授賞式では受賞作「平和を育てよう」（周さん）、「友だちになろう」（和さん）に込められた思いや、「世界中が平和になりますように」と願いながら絵を描いたことなどを一生懸命、大司教様にお話しされました。

「希望に満ちた色づかいがすばらしいです。みんなの手で、ロザリオに象徴される、キリストの十字架とマリアの祈りを土壌として育てられた平和の木は、ハートの絵の中に象徴される無傷の原爆ドームや平和の鳩と花などを咲かせ、周りも鳩やハートなどで包まれ、平和を明るくあまねく発信しているようです」「この鳩のなかにたくさんの平和がありますね」と大司教様からのあたたかいお言葉をいただき、二人とも緊張がほどけたよう。素晴らしい笑顔で賞状と記念品を受け取られました。

「二人とも、どんな絵にしようかと一生懸命取り組んでいました。二人にとって貴重な経験であったのはもちろんですが、小教区にとっても素晴らしい経験につながりました。この絵画コンテストをきっかけにして紀北ブロックでは、世代を超えた交流が生まれました。社会活動委員会が、疎遠になりがちな小教区間をつなぐ媒体になっていると実感しました」とご家族からは貴重なご意見もいただきました。ありがとうございます。

残念ながら授賞式に参加できなかった受賞者のみなさんには、賞状と記念品を郵送させていただきました。受賞作品は順次シナピスニュースの表紙に掲載しますので、どうか楽しみにご覧下さい。





## パレスチナの平和を祈る

シナピス運営委員 西口 信幸

降誕祭を迎える準備の時である今、聖地エルサレムでもガザ地区でも、罪の無い多くの命が奪われています。この“虐殺”行為を国際社会が止めることができない現実、「為すすべがない・・・」と無力感に襲われそうになりますが、平和を求める動きが次々と出てきています。

それぞれの場でできることを共有する一助となりますように、いくつかの動きを紹介させていただきます。皆さんからの情報もお寄せください。

### ●教皇フランシスコ：11月26日（日）のお告げの祈り

＊「祈りは憎しみの連鎖を止める、平和の力」

＊「平和のために忍耐をもって祈ろう」

11月22日（水）一般謁見

＊祈りの世界ネットワーク 教皇ビデオメッセージ



### ●宗教者9条スタンディング

渋谷での追悼集会（失われる命に思いをはせ“赤い涙”追悼）



「失われる命に思いをはせ“赤い涙”追悼」に参加された山村順子さん（北海道パレスチナ医療奉仕団/JASA 共同代表）からのメッセージ

現在、一時的に停戦していますが、状況は依然として厳しいままです。ガザでの民間人虐殺はもちろん、西岸地区でのイスラエルによる日々の人権侵害も誰も止められないまま続けられています。パレスチナの若者が当たり前のように日々イスラエル当局から逮捕されたり、殺されたりする日常はこのまま放置できるものではありません。「沈黙するということが虐殺に加担することである」と現地の人たちは言います。私たちが状況が良くなることを祈るだけでなく、声を奪われているパレスチナの人たちのために積極的に声を上げていけたらと思います。

### ●11月29日は「パレスチナ人民連帯国際デー」です——国際広報センター 合わせて、全国で停戦を求める集会が開かれます。

＊パレスチナに平和を！ 11・29 緊急新宿デモ（#パレスチナに平和を緊急行動

＊パレスチナ人民連帯国際デー 在大阪米領事館前アクション



### ●12月5日 映画「ガザ 素顔の日常」上映とお話 滋賀県立大学

無料・申込不要 お話・パレスチナ地域研究 金城美幸さん

「あなたの知らないガザの人々の素顔を知って、ともに考えませんか？」





## 映画上映会のご案内

10月7日の戦闘開始以降、最初の1カ月でガザ地区の犠牲者数は1万人を超え、イスラエル側にも1,200人の犠牲者が出ています。ガザ地区では人口の7割近くが国内避難民となり、水・食料・医薬品などすべての生活必需品も不足し、「戦争で死ぬか飢餓で死ぬか」という声まで聞こえてきています。一方、イスラエル側から誘拐されたとされる約240名も依然として解放されておらず、即時の停戦と人質の解放が急務です。

「ガザ地区では今何が起きているのか、危機的な状況の中で市民の命を守るため私達に今できることは何か」を考えていくために、ジャーナリスト古居みずえさんが2008—9年のガザ侵攻直後に撮影したドキュメンタリー映画「ぼくたちは見た -サムニ家の子どもたち-」の上映会を行います。

### イベント詳細

日時:2023年12月26日(火) 13:30 ~ 15:00

場所:カトリック大阪高松大司教区本部事務所

大阪府中央区玉造2-24-22

TEL:06-6942-1784

参加費:無料

※事前申し込み不要

- JR 環状線 森ノ宮駅から約800m
- 地下鉄中央線 森ノ宮駅 2番出口から約700m
- JR 環状線 玉造駅から徒歩約800m

### アクセス



主催：特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン

「パレスチナ子どものキャンペーン」ではガザ緊急募金を受け付けています。

郵便振替口座【00160-7-177367】

みずほ銀行高田馬場支店【普通 8030448】

## アフガニスタン人女性たちだけで楽しむお茶会が実現！

Women have gathered since the dawn of humanity. For thousands and thousands of years, women have gathered throughout civilization, ethnic groups and cultures around the world.

Women gather for specific purposes, women gather to share in the responsibility of the children of the village, women gather to sow seed.

On 2023/10/7 Afghan refugee women gathered, there was a circle that everyone had a voice with equal weight and learning from each other, this circle provided a deep listening space for all to be heard without judgment. We elevated each other, there was a space where we could share our highs and lows and be supported.

The first gathering of women without the participation of men, after recognition as a refugee in Japan, all together with peaceful minds.

In spite of all the social problems in new society and the distance from the family and the lack of peace in the country and mental and emotional problems, every one shared ideas, danced and laughed together.

It is necessary to continue in the form of a tea ceremony that more women can participate and consult with peace of mind, while we have a system and culture that values and prizes men and masculinity and holds them as better and superior to women and the feminine.

We need these gathering spaces to strengthen us women.

AZIZI ROQIA



女性達の集まりは、人類の夜明けと共に始まりました。そして、何千年もの間、世界中で女性たちは民族や文化という文明を通じて集まりを持ち続けてきましたが、その女性たちの集まりには、特別な目的があったのです。例えば、村の子ども達を責任をもって守るために情報を共有したり、種を蒔くために集まる等の目的があったのです。

2023年10月7日、アフガニスタン難民の女性たちが集まり、輪になって話し合いをしました。そして、その集いでは、それぞれが自身の良いことも悪いことも包み隠さず話すことができました。相手を批評したり、互いに優劣をつけることはせず、皆が平等に学び合い、高め合い、支え合う…そんな空間でした。

「男性の参加者は無し」という女性だけの集まりは、私が難民認定されて以来、これが初めてのことでした。女性達は皆穏やかな気持ちでこの集まりに参加しました。新しい土地や社会での苦労や、遠く離れた家族のこと、悪化していく母国の情勢など、自身の心の悩み・心配など吐き出し、皆で分かち合い、そして最後は皆で一緒に踊り、笑って終わりました。

男性らしさを尊重し、男性を女性よりも優れたものとするアフガニスタンの制度や文化がある中では、より多くの女性が安心して参加して相談することができるティー・パーティのような形で、このような集まりを継続することが必要なのです。

私たちは、私たち女性の力を強めるために、このような集いの場所を必要としています。

アジジ・ロキア（シナピス埼玉支部スタッフ）



## 歳を重ねた私たちが支える共同体 ～限りが見えてきた私たちだからこそできる行動～

阪神地区社会活動委員会

11月26日(日)、カトリック夙川教会に於いて、シナピスのビスカルド篤子さんとともに、標記のテーマでシナピス移動学習会〈阪神地区社会活動委員会主催〉を実施しました。

最近「還暦」を迎えられたというビスカルドさんが「若い時には分からなかった様々なことが、歳をとって理解できるようになってきた。歳を取るのも悪くない」と初めに言われたことで、高齢であることをマイナスに考えなくても良いのだと心が解放された気持ちになりました。

コロナ渦を経て、様々な企画をしても、「集まりが悪い」「出るのが億劫」等、否定的な声に半ばあきらめにも似た気持ちになり悲観的になりがちですが、高齢化に突き進む日本社会で教会共同体がこれからどのように生きていくべきなのかを真剣に考える機会をいただいたと感じました。

「なぜ教会には子どもや若者が少ないのか」、また「なぜあなたは教会を去らなかったのか」という講師の問いかけに、参加者30余名全員が、子育ての時に感じたこと、また、当時と現在の社会状況や教会組織の違いや、ご自分の信仰体験を分かち合ってくださいました。

「教会より魅力的な場所がある」「日曜学校を支えるリーダーがいない」「教会に行っても同世代の友達が少ないと面白くない」「3年間のコロナ渦で教会に来ないことに慣れてしまった」「若い人の生活スタイルと教会の教えが違う」「忙しい親が教会に来ないと小さい子どもは来れない」、「中高生は部活や受験勉強などで忙しすぎる」など、社会生活との関連で遠のく例や、「昔は同世代の子ども達が教会で長時間過ごしていたが今は教会が居場所になっていない」「同じ目標に向かって歩む仲間がいない」と切実に感じ、今の若い世代を気の毒に思う声も聞かれました。

また一方で「若者のリーダーをしていた時、教会に提案しても高齢者から受け入れてもらえず、伝統を変えてもらえないので壁ができています」「人間が集まる所には噂がある」「いま、魅力のある信者がいるかどうか」「どなたでも待ち受ける気持ちが必要」など、教会内部の反省も促されました。

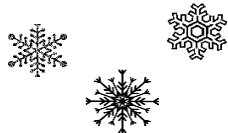
地域の文化センターとは違って、各教会にある「手話」・「点字」・「習字」・「手芸」・「音楽」などの活動には必ず祈りが伴います。行動的な祈りを通して元気に福音を生きる高齢者の姿は、次世代にも伝わるのではないかと講師は示唆されました。また、ウクライナやパレスチナなど、世界で苦しむ人びとに思いを馳せる「祈りの会」や、街頭でのスタンディング行動など、ぜひ『シナピスニュース』を活用して情報を発信し、教会ネットワークを広げていただきたいと話されました。

お爺ちゃん・お婆ちゃんがニコニコしていつもいてくれる教会、こどもにとって家と学校ではない第三の居場所としての教会、そうすると皆にとって教会が「重荷をおろして憩える場」になれるのではないかと、と言われました。キリスト教に関係のない現役の入管職員や警察官等の国家公務員の方が「定年後の余生は人のために尽くしたい」と言われることもあるそうです。教会が「人に尽くすための場」となって定年後の人びとへ提供できるように、「ようこそ」と、まずドアを開ける役割を果たしたいと思

いました。世界各地の悲惨な戦争に心をいたため、為すすべもなく無力感にさいなまれますが目の前の身近な人を大切にすることから始めたいと思いました。

最後に、講師の「私たちは“なぜ教会に行かないといけないのか”という若者の問いに、真剣に向き合ってきたでしょうか？」という問いかけに、今後は「なぜ私は教会を去らなかったのか」を真剣に考えて、自分のことばで若い世代に伝えられるようにしたいと思いました。





# 忘れない あきらめないカレンダー

どんな状況下でも、忘れず、あきらめず、希望をもって歩む皆さまに、情報を配信します。



## 2023年12月の案内

★印 カトリック関係

2023年 祈祷の信徒 祈りの意向 12月	
<p>教皇の意向：障がい者 障がい者に社会の関心が注がれ、積極的な参加を大切にしない排除しない諸施策が提供されますように。</p> <p>日本の教会の意向：召命 司祭・修道者・信徒が、救いの福音を社会に伝え、神からの呼びかけに応えることができますように。</p>	
1 金	<p><b>世界エイズデー</b></p> <p>奴隷制度廃止国際デー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども脱被ばく裁判 勝利判決を！ 西日本集会 ■場所:クロスパル5F視聴覚室 13時開場 13時半～ 講演:井戸藤一さん(弁護士) オンライン参加あり 参加費:500円 共催:「子ども脱被ばく裁判・支える会西日本」「子ども脱被ばく裁判の会」 問合せTEL090-1679-3085(長谷川)</li> <li>●いまなぜ子ども権利条例制定か ■場所:いたみホール会議室 14時 講師:吉永省三さん(千里金蘭大教授) 資料代:700円 主催:市民の力で社会を変えよう連続市民講座 問合せTEL090-5132-0028(小柳久嗣)</li> <li>●関東大震災時における朝鮮人・中国人虐殺は「南京」へと続いた…私たちは 排外主義・史実隠蔽を許さない！！ ■場所:PLP会館5F大会議室 13時開場 13時半～ 映像:被害証言:侯占清さん(南京在住・故人) 加害証言:永富 博道さん(元日本兵・中国帰還者連絡会・故人) 講演:「『虐殺』と『忘却』の国家責任と民衆責任 ー日本とドイツー」 講師:田村光彰さん(元北陸大学教員 伊藤吉義士共の会会長 「大東亜聖戦大碑」撤去の会事務局長 元法廷ドイツ語通訳) 参加費:800円 (障害者、学生無料) 主催:南京大虐殺60周年大阪実行委員会 TEL080-5634-3553</li> <li>●「台湾有事」NO! 沖縄を再び戦場にさせない 2023 ZENKO スピーキングツアー 大阪・南部集会 ■場所:ノバティながの南館 多目的ホール 18時半～ 1日参加券(前売):500円 当日券200円アップ (オンライン参加は事前登録必須) 主催:ZENKO(平和と民主主義をめざす全国交歓会) TEL090-3966-0604(森)</li> </ul>
2 土	
3 日	<p><b>国際障害者デー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●とめよう！原発依存社会への暴走1万人集会 ■場所:うつぼ公園 13時 デモ14時半 主催:老朽原発うごかすな！実行委員会 検索:「老朽原発動かすな」 <a href="https://blog.goo.ne.jp/takahamakarakanden">https://blog.goo.ne.jp/takahamakarakanden</a></li> </ul>
4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●演劇「マリヤの賛歌ー石の叫び」 ■場所:喫茶美術館 18時半開場 19時開演 アフタートーク:畑津江さん 料金:2500円(要予約) 主催:マリヤの賛歌を上演する会 チケット予約・問い合わせTEL080-7276-4756 ☞cosmic.maria@softbank.ne.jp</li> </ul>
5 火	<p><b>経済・社会開発のための国際ボランティアデー・世界土壌デー</b></p>
6 水	<ul style="list-style-type: none"> <li>●戦争あかん！ロックアクション 御堂筋デモ ■場所:新町北公園 18時半集会 19時10分デモ出発 主催:戦争あかん！ロックアクション 連絡先TEL090-5063-0073 ブログ「戦争あかん！ロックアクション」</li> <li>●「台湾有事」NO! 沖縄を再び戦場にさせない 2023 ZENKO スピーキングツアー 兵庫集会 ■場所:西宮勤労会館4F第8会議室 18時半～ 1日参加券(前売):500円 当日券200円アップ (オンライン参加は事前登録必須) 主催:ZENKO(平和と民主主義をめざす全国交歓会) TEL090-3975-0670(松谷)</li> </ul>
7 木	
8 金	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新・関電株主代表訴訟 ■場所:大阪地裁前 14時半 ミニ集会(傍聴券抽選) 15時半 第1回口頭弁論開廷 終了後 堂島ビル会議室 記者会見&amp;報告集会 主催:関電株主代表訴訟原告団/関電の原発マネー不正還流を告発する会 TEL080-5342-4819(滝沢) <a href="http://kandenakan.html.xdomain.jp/kabudai.html">http://kandenakan.html.xdomain.jp/kabudai.html</a></li> <li>●琉球人遺骨返還訴訟 大阪高裁判決ーその意義とこれからー ■場所:PLP会館4F中会議室 18時開場 18時半～ 講師:松島泰勝さん(原告団団長) 丹羽雅雄さん(弁護士) 資料代:1000円 主催:琉球遺骨返還請求訴訟を支える会・大阪 連絡先TEL090-8234-0077(事務局)</li> </ul>



9	土	<p>ジェノサイド犠牲者の尊厳を想起しその犯罪防止を考える国際デー・国際腐敗防止デー</p> <p>●南京の記憶をつなぐ2023ドキュメンタリー上映／講演「南京の人びとを救った外科医」        ■場所:エルおおさか南館5Fホール 13時半開場 14時～ 上映:映画「ウィルソン医師ー南京孤獨のたたかい」        講演:「私と南京ー歴史、大虐殺の事実調査、戦争中の父」 講師:高文軍さん(元桜花学園大学教授)        資料代:1000円 主催:南京の記憶をつなぐ2023 連絡先TEL090-8125-1757</p> <p>●「小田実を読む」例会「新しい戦前」について考えるー新聞と戦争 ■場所:芦屋市民センター210,202室 14時～16時半        問題提起:白石憲二さん(元朝日新聞記者) 資料代:1,000円 主催:「小田実を読む」会 連絡先TEL090-8149-7615(北川)</p>
10	日	<p>人権デー</p> <p>●ドキュメンタリーを視て語るつどい ■場所:大阪市立北区民センター 18時        上映:「独占そごう西武ストの舞台裏の決断に密着」「大阪・関西万博まで1年半間に合う?開催の意義は?」「沖縄戦終焉の地から考えるー慰霊はどうあるべきか」 会場費:300円 主催:映像で現代を語る会 連絡先TEL090-5151-9763(中森)</p> <p>●「台湾有事」NO! 沖縄を再び戦場にさせない 2023 ZENKO スピーキングツアー 大阪・市内集会        ■場所:アンピールホテル大阪 13時半～        1日参加券(前売):500円 当日券200円アップ(オンライン参加は事前登録必須)        主催:ZENKO(平和と民主主義をめざす全国交歓会) TEL090-8162-3004(川島)</p>
11	月	
12	火	<p>国際中立デー ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ国際デー</p> <p>●宝島社裁判 控訴審決起集会 ■場所:大阪市中央会館ホール 18時開場 18時半～ 資料代:500円        主催:宝島社「大阪ミナミの貧困女子」差別出版裁判を支援する会 連絡先TEL090-6766-0363 takarajimasaiban@gmail.com</p> <p>●原発事故は国の責任 裁判官に決断を求める本気の200人パレード ■場所:西天満若松浜公園 11時半 12時パレード出発        13時半 第20回期日開廷 17時 記者会見&amp;報告集会(中之島図書館3階多目的スペース)        連絡先:原発賠償訴訟・京都原告団を支援する会 TEL090-8232-1664(奥森)</p>
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	<p>●パレスチナに自由を!～集会・デモ&amp;追悼アクション・リリーススピーチ        ■場所:扇町公園・南西角スペース 15時半～16時 16時10分デモ(約40分間)～梅田OS劇場前流れ解散        17時半～18時半 リリーススピーチ 於:JR大阪駅御堂筋北口歩道(ヨドバシ前道路向かい歩道)</p> <p>■同時開催 アクション        「TEARS FOR PALESTINE ～パレスチナに涙を～」        Paint a red tear to honor the victims of the Gaza genocide.        ガサの大量虐殺の犠牲者ひとりひとりを想って、赤い涙を描こう。        15時半～17:30 パレスチナ追悼アクション        於:JR大阪駅御堂筋北口歩道(ヨドバシ前道路向かい歩道)        ★すべての行動現場に「撮影禁止ゾーン」を設けています。        主催:関西ガザ緊急アクション 連絡先: bds.kansai@gmail.com</p>
17	日	
18	月	<p>国際移住者デー アラビア語デー</p>
19	火	
20	水	<p>人間の連帯国際デー</p> <p>●神戸・南京をむすぶ会 12月集会 中村平さん講演会「台湾高地先住民との関わりから考える脱殖民化」        ■場所:神戸学生青年センターウエスト100 2階ホール 18時半～20時半        講師:中村平さん(広島大学人間社会科学部研究科教員) 参加費:1000円 事前申し込みは不要        主催:神戸・南京をむすぶ会 連絡先TEL078-891-3018 fax078-891-3019 HP:https://ksyc/nankin/ e-mail:hida@ksyc.jp</p>
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	木	国際疫病対策の日
28	金	
29	土	シナピス冬期休暇(～2024.1.8)
30	日	
31	月	

活動へのご支援ご協力を  
よろしくお願いたします。

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス



難民移住者への支援物資提供も

よろしくお願いたします。

米、ハラル食品、レトルト食品、油  
テレフォンカード、レトルトご飯、缶詰



お電話をお待ちしています！

☎06-6942-1784



シナピス公式

さまざまなお知らせや情報を発信！  
友達追加は QRコードから



CATHOLIC.OSAKA.SINAPIS.



◀◀◀ HPはこちらから

<https://sinapis.osaka.catholic.jp>

ニュースレター配布停止ご希望の方は  
シナピスまでお知らせください。

あとがき

3年余り続いたコロナ禍の間、私たちは集まったり語りあうことが阻まれ、マスク越しに、あるいは画面越しにコミュニケーションをとることを強いられました。この間に生じたことをひとことで表現すると、「分断」という言葉が思い浮かびます。集まらない、会いに行けない、触れられない…。突然、関わりを絶たれたことで人間関係に分断が深まり、ともに働く人たちの間にも疑心暗鬼が生じることもありました。しかしこの分断は、コロナ禍によって生じたというよりも、それ以前からあった要因が、コミュニケーションを絶たれたことで顕在化したと捉えることもできます。

10月にバチカンで開催されたシノドス（世界代表司教会議）のテーマは、「共に歩む教会のため-交わり、参加、そして宣教」でした。このテーマを見ると、私たちが体験した分断を根源から問い直そうとするような意図を感じます。この機会に、私たちは本当にまわりの人たちを信頼しているのか、心から支えあうことができているのかを、自らに問いかけた方がいいのかもしれない。（I）

## ▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

### ◆広報活動

- ・教皇メッセージ、司教団メッセージ等  
社会活動の指針の伝達
- ・読者と教会内外の社会活動をつなぐ  
機関誌としてシナピスニュースを発行

### ◆大阪高松教区・社会活動委員会との連携

### ◆学習会研修会の企画

### ◆こども基金

世界・日本のこどもたちへの援助

### ◆日本カトリック司教協議会との連携

正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、  
カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

### ◆人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

### ◆難民移住移動者支援

難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

## アクセス

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22

カトリック大阪高松大司教区事務局



### ●公共交通機関ご利用の場合

JR 森ノ宮駅より 約 1000m

地下鉄中央線森ノ宮 2 番出口より 約 800m

JR 玉造駅より 約 1000m

地下鉄長堀鶴見緑地線玉造 1 番出口より約 800m

### ●車でお越しの場合

阪神高速 1 3号東大阪線法円坂出口

法円坂交差点南へ上町を東へ

活動へのご支援ご協力をおねがいたします

☐郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス

☐三井住友銀行 玉造支店 普通 9401958

カトリック大阪大司教区 シナピス

代表役員 前田万葉

☐オンラインはこちら →→→

